広報 高千穂

3
2024
No.690

神話の高千穂 建国まつり

2月11日、第39回神話の高千穂建国まつり（建国まつり実行委員会甲斐勇磨実行委員長）のパレードが4年ぶりに開催されました。

神様コンテストで選ばれた6人の神様をはじめ、企業や園児など19団体が参加。八百万の神々に扮し、高千穂神社から槵觸神社まで約1.4㎞をパレード。沖縄県南城市から職員や公式キャラクター〝なんじぃ〟も訪れ、沿道に訪れた多くの人の目を楽しませていました。

今回は、町中央体育館駐車場を会場にイベントを開催。ダンスなどのステージパフォーマンスや国引き（綱引き）大会が行われました。また、高千穂牛コロッケやポテトなど19店舗が出店。多くの来場者で賑わいました。

同日、高千穂神社の神楽殿では、高千穂の夜神楽伝承協議会（後藤俊彦会長）が、神楽を受け継ぐ子どもたちの稽古を披露する場として開催している『～未来に繋ぐ舞神楽～第2回「高千穂の夜神楽子ども伝承者の集い」』が行われ、6カ所の神楽保存会（野方野、立宿、下川登、中畑神社、下野、河内）に所属する小中学生や高千穂高校神楽保存会、豊前神楽山内神楽講（福岡県）が神楽を奉納。計9番の見事な舞を披露しました。

たかちゅっとニュース

無病息災・家内安全を願う
鬼の目はしらかし

2月4日、荒立神社で鬼の目はしらかし（本組降神会興梠安徳会長）が行われました。

青竹の先端を破裂する寸前まで熱し、石にたたきつけ「はしらかす（破裂させる）」音で、邪気を払い、無病息災や家内安全を願う伝統行事で、早朝にもかかわらず、町内外から多くの人が訪れました。

参加者らは、大きな破裂音と真っ白な煙が立ち上るたびに拍手と歓声を上げていました。

ひとり一人の心がけが大切
上水道水神祭

2月13日、高千穂峡の御塩井水源地にて、水神祭が行われました。

昨年度までの3年は、新型コロナにより、町長と上下水道課職員のみで神事を執り行っていましたが、今年は4年ぶりに水道関係者など38名が参列し開催。水の安全や安定供給を祈願しました。

水は限りある資源です。ひとり一人が節水に心がけ、大切に使用しましょう。

4年ぶりのタスキリレー
第４９回高千穂町駅伝競走大会が開催

2月24日、町スポーツ協会（甲斐教也会長）主催「第49回高千穂町駅伝競走大会」が4年ぶりに開催されました。

大会は、小学生から一般までの5部門に24チームが参加。町総合公園内を周回するコースで、小学生男子5チーム、女子3チームが5区間0．92㎞。中学生女子1チーム、高校生6チーム、一般9チーム（うちオープン参加2チーム）が5区間8．28㎞を優勝目指してタスキをつなぎました。

きらり高千穂人

宮崎県社会教育優良団体
子育て支援「ぽっぽの会」

多年にわたり地域において社会教育の振興のため企画・指導・運営に率先して当たり、顕著な業績を有する社会教育関係団体として、子育て支援「ぽっぽの会」(佐藤千賀子会長)に宮崎県社会教育優良団体表彰が贈られました。

ぽっぽの会は、子育て中の親の手助けとして、子育ての悩みや不安などが相談できる環境づくりや託児ボランティア、絵本の読み聞かせなど、地域一体となった子育て支援の活動に寄与されています。

宮崎県社会教育功労者
甲斐加代子さん

多年にわたり地域において社会教育の振興のため企画・指導・運営に率先して当たり、顕著な業績を有する社会教育関係者として、甲斐加代子さん(野方野)に宮崎県社会教育功労者表彰が贈られました。

甲斐さんは、教育委員や公民館女性連絡協議会の役員、生涯学習講座の講師を務められるなど、社会教育活動の充実を図ると共に、長年にわたる生涯学習の推進や普及啓発に貢献されました。

みやざき社会貢献活動表彰
高千穂ひかりの会

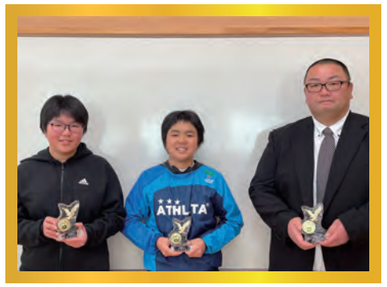
高千穂ひかりの会(稲葉和子代表)が、みやざき社会貢献活動表彰を受賞しました。

表彰は、県民による社会貢献活動をより一層促進することを目的として、社会貢献活動に取り組む功績が認められた個人、団体、企業に送られるもので、高千穂ひかりの会は、生活に必要な情報提供として、町の広報誌をCDに音訳録音し、視覚障がい者などに送る活動を長年にわたり行っており、その功績が認められ表彰されました。

(公財)宮崎県スポーツ協会
スポーツ優秀賞・指導者賞受賞

国内外トップレベルの大会で優秀な成績を収めた選手に送られる公益財団法人宮崎県スポーツ協会(春山豪志会長)のスポーツ優秀賞を、高千穂相撲クラブの堀姫萌華(ひめか)さん(高千穂小6年)と瑠琉華(るるか)さん(同小4年)姉妹が受賞しました。また、父の堀慎太郎さんが、同指導者賞を受賞しました。

姫萌華さん瑠琉華さんは全国大会等での好成績。慎太郎さんは、育成の功績が認められ表彰されました。



地域おこし協力隊の そうなっちゃ！高千穂

高千穂の郷土かるた

みなさん、「たかちほかるた」というものをご存じでしょうか。

昭和50年代に教育委員会が視聴覚教育の一環で、各学校や図書館等関係各所に配布したカルタだそうです。

1年前の活動報告会の際にお伝えした活動目標の一つ「高千穂の自然・動植物を子どもたちが楽しみながら知ることができるようなカルタづくり」について思案していた時期に、この「たかちほかるた」と廃校で出会いました。洗練された俳句と趣ある写真の絵札があるカルタです。

しかし、作成当時の資料は見つかりませんでした。最近やっと作成にかかわった方にお話を聞くことができ、熱い思いと自然だけではない高千穂の魅力、奥深さをさらに感じ、「たかちほかるた」の後発として恥ずかしくないようなカルタを作らなければと思いを新たにしました。

そして、この度、次世代教育への熱い思いのある多様な業種の有志が集い、高千穂の郷土カルタ作成プロジェクトが動き出しました。「小さな子どもから年配の方まで一緒に楽しみながら、高千穂を知り、盛り上がれるようなカルタ」の作成を目指して、活発な話し合いを重ねております。

今後の予定としては、読み句・絵札を公募し、1年後に完成し、学校等で普及活動を行ったり、大会を毎年開催したりしたいと思っています。

いよいよこの春、カルタの読み句を公募します！！

高千穂の幼保小中高校生をはじめ、どなたでも参加できます。

ついほほ笑んでしまうような句、面白い句、目頭が熱くなる句、洗練された俳句、わかりやすい句など、どんな句が集まるか今から楽しみです。

募集要項の詳細は、各学校や公民館、回覧板、高千穂町のLINE、その他フェイスブック、インスタグラム等で告知しますので、お見逃しのないように！

ぜひみなさんのご参加をお待ちしています。

【たかちほかるた】
昭和50年代の当時を思わせるような写真がぐっときます。今も所有している施設はいくつかあるようですが、発行部数自体が少なかったそうです。

【高千穂かるた作戦会議】
まずはかるたの名前…たくさん出た候補の中から話し合いで決めました。

【高千穂かるた作戦会議】
キーワードはできるだけ分野や地区が偏らないように…私の発案時は動植物の名前ばかりでした（笑）

【たかちほいいっちゃがかるたイメージ】
話し合いの結果「高千穂いいっちゃがかるた」と命名。完成前から味のあるカルタになる予感がしています。

甲斐　有香　Kai Yuka

令和4年8月福岡から移住。地域おこし協力隊ユネスコエコパーク自然体験ガイドに着任。
子どもを対象とした自然体験企画の開発をしています。高千穂の子ども達に自然を感じるような素敵な体験をたくさんしてもらえるような仕掛けを考えているので是非参加してください。

立 町内中学校 志式を開催 2/1・8

2月1日、上野中学校で立志式が行われました。

末原幹大（みきひろ）校長が「今日の決意を実行すること。困難や失敗が数多く訪れるが、それらの経験をする中で、諦めず、へこたれずに実行することで、人は成長する」とあいさつ。「“努力は足し算　協力は掛け算”一人ひとりの夢や希望が叶えられるように各自の努力と、クラス全員の協力に期待します」とはなむけの言葉を贈りました。

続いて、２年生13人が、それぞれの夢や目標、抱負を来賓者や保護者の前で発表しました。

式終了後、本町教育員会の戸敷二郎教育長が「生きるということは、挑戦の連続です」と題して記念講演を行いました。

青 1日に必要な量は？ 果物食育講座 2/2

岩戸小学校で、株式会社eatLinkの黒井春菜代表取締役を講師に迎え、青果物食育講座(県青果物消費拡大推進協議会主催)が行われました。

黒井さんは、管理栄養士やアスリートフードマイスターの資格を持ち、スポーツ少年団からプロのアスリートの食事をサポート。6年生と保護者を対象に「1日に必要な野菜や果物の量を知ろう」と授業を行い、野菜の種類や重さを量るなどして、1日に必要な量を自分たちで工夫すれば食べれることを学びました。

また、２月7日は高千穂中学校で行われ、金丸智弘校長が「これからますます予測困難な時代がやってくる。その時代を力強くたくましく生き抜くことができるよう応援している。みなさんの活躍のステージが、日本国内でなく世界であっても、志の根幹は家族やふるさと高千穂にある。“人生常に六十点　学びなくして成長あらず　夢叶うまで挑戦”してください」と式辞を述べました。

続いて、学級ごとに登壇し、2年生67名が一人ひとり来賓者や保護者を前に将来の夢や目標など発表しました。その後、1組の甲斐瑛暁（てるあき）さんと2組の池田麗輔（うるふ）さんが代表し、学級ごとの誓いのことばを述べ、それぞれの生徒が復唱しました。

式終了後、宮崎県キャリア教育支援センターの水永正憲トータルコーディネーターが「君たちはどう生きるか～君たちの未来は可能性に満ちている～」と題して記念講演を行いました。

柚 社会科見学 木野人形浄瑠璃を学ぶ 2/5

上野小学校の4年生7人が町コミュニティセンターを訪れ、柚木野浄瑠璃の歴史を学びました。

児童らは、人形の作り方や操作方法などの説明ビデオを見たあと、保存会の佐藤弘文会長と町職員の緒方俊輔さんに話を聞くなどして、実際に人形を持ち、重さや動かすなどの体験をしました。

佐藤会長は「継承していくことはなかなか難しいが、学ぶことで興味を持ってもらえれば」と話しました。

高 延岡しろやま支援学校 千穂校しろたか販売祭 12・2月

延岡しろやま支援学校高千穂校は、昨年12月14日の第1回に続き、2月20日に2回目のしろたか販売会を、がまだせ市場鬼八の蔵にて行いました。

当初、2回目を1月に行う予定でしたが、天候が心配されたことから延期。“次はいつになりますか”などの問い合わせもあり、待ちわびた人や近くの園児が訪れ、賑わいました。また、呼び込みや購入のお礼として、先生が演奏し生徒が手話歌などを披露。手拍子と拍手で温かな雰囲気となりました。

12月の販売のときには「たくさん売れてよかった。2回目は、もっとたくさん売りたい」と話していた生徒らは「今回もたくさん売れてよかった」と話しました。

ザ ンビア共和国と交流 グローバルな感覚を養う 2/26

高千穂中学校で、ザンビア共和国の中学生との異文化交流がオンラインで行われました。

1年生89人は、総合的な学習の時間として、これまでに町の魅力を探究。その成果を発表する機会として、今回、青年海外協力隊の隊員としてザンビア共和国へ渡った先生の協力により、交流が行われました。

交流では、代表グループ5人が高千穂の自然や伝統文化、産業をテーマに高千穂峡や高千穂牛、神楽などについて英語で紹介。画面を通して、お互いのさまざまな文化の違いを興味深く聞き入っていました。

薬 薬といっても色々 物乱用防止教室 2/6

押方小学校で、学校薬剤師の坂本力治さん(さくら調剤薬局)を講師に迎え、6年生の薬物乱用防止教室が行われました。

薬物はとはなにか。覚せい剤や大麻等の危険薬物だけでなく、アルコールやたばこなどの危険性。また、市販薬についても、用法や用量を守らないと過剰摂取となり非常に危険であるなどの説明を受けました。

甲斐尊暁（たかあき）さんは「これまでいろいろな薬を治療に使ってきたが、使い過ぎはいけないと思った。これからは正しい使い方をしていきたい」と話しました。

高 延岡しろやま支援学校 千穂校職員研修 2/15

延岡しろやま支援学校高千穂校の職員4人が、玄武山正念寺で職員研修を行いました。

職員らは、御本尊を前に「共に生きるということ」について、第17代吉村順正住職の法話を聞きました。

法話の後は、ヴィクトリア坊守がホストを務める正念寺ロッジを見学、お客さまを暖かく迎え入れるための工夫やおしゃれなつくりに感動をしていました。

芝裕介養護教諭は「全てに通ずる話だった。他者を気遣い、価値を決めつけることなく、一人ひとり誠意をもって対応したい」と話しました。

高千穂町消防団の組織が変わります

近年、人口減少・少子高齢化などに伴い、活動できる消防団員が減少し、現状の消防団活動体制が維持困難な分団も出てきたため、令和６年４月１日から新たな体制（地区10分団を５つの分団に統合）で活動をスタートすることになりました。今後、より一層の消防力維持・強化を図り、火災をはじめ、多様化する災害等に対処してまいります。

令和６年３月３１日までの組織・出動体制（現行）

分団	部	公　民　館	出動地域（大字）
機動分団	第１部	町区	町　内
	第２部	神殿	
第１分団	第１部	下川登	三田井
		中川登	
		上川登・大野原	
	第２部	浅ヶ部	
	第３部	三田井北	
		三田井東	
	第４部	本組	
第２分団	第１部	上押方・下押方・片内	押　方
	第２部	五ヶ村東・五ヶ村西	
	第３部	跡取川・芝原東・芝原西	
	第４部	山附・三原尾野	
第３分団	第１部	椎屋谷・丸小野・石原・水ヶ崎	向　山
	第２部	黒仁田・尾狩・秋元	
第４分団	機動部	笹の戸	岩　戸 上岩戸
	第１部	五ヶ村	
		上寺	
	第２部	立宿・土呂久	
	第３部	東岸寺	
		日向	
第５分団	第１部	大平	
		野方野	
	第２部	上永の内	
		黒原	
	第３部	日出	
	第４部	下永の内	
第６分団	第１部	河内・中西・城山・奥鶴・馬場	田　原 河　内 五ヶ所
	第２部	五ケ所	
第７分団	第１部	上田原	
	第２部	下田原・高岩	
	第３部	下河内	
第８分団	第１部	上野	上　野 下　野
	第２部	玄武	
	第３部	黒口	
第９分団	第１部	下組	
	第２部	下野東	
	第３部	下野西	

令和６年４月１日からの組織・出動体制

分団	部	班	公　民　館	出動地域（大字）
第１分団	機動部	１班	町区	町　内
		２班	神殿	
	第１部	１班	下川登	三田井
			本組	
		２班	中川登	
		３班	上川登・大野原	
	第２部	１班	三田井北	
		２班	三田井東	
		３班	浅ヶ部	
第２分団	第１部	１班	上押方・下押方・片内	押　方 向　山
		２班	五ヶ村東・五ヶ村西	
		３班	跡取川・芝原東・芝原西	
		４班	山附・三原尾野	
	第２部	１班	椎屋谷	
		２班	丸小野・石原・水ヶ崎	
		３班	黒仁田・尾狩・秋元	
第３分団	第１部	１班	笹の戸	岩　戸 上岩戸
		２班	五ヶ村	
	第２部	１班	上寺	
		２班	立宿・土呂久	
		３班	東岸寺	
		４班	日向	
	第３部	１班	大平	
		２班	野方野	
	第４部	１班	上永の内	
		２班	下永の内	
		３班	黒原	
		４班	日出	
第４分団	第１部	１班	河内・中西・城山・奥鶴・馬場	田　原 河　内 五ヶ所
		２班	五ケ所	
	第２部	１班	上田原	
		２班	下田原・高岩	
		３班	下河内	
第５分団	第１部	１班	上野	上　野 下　野
		２班	玄武	
		３班	黒口	
	第２部	１班	下組	
		２班	下野東	
		３班	下野西	

今月の俳句

選者 佐藤 守

今月は、町内の小中学校から、55句の作品が寄せられました。

うたいます
そつぎょうしきに
ありがとう
田原小1年 迫田 日世里

6年生
最後の遠足
楽しいな
押方小4年 戸髙 景

別れの日
春一番の
涙でた
上野小6年 押方 颯斗

春が来て
お花見するの
楽しみだ
岩戸小3年 甲斐 陽愛

登校中
うぐいすの声
聞き惚れる
高千穂小6年 後藤 萌々花

牛小屋に
今年もつくる
つばめの巣
高千穂中1年 原田 紗和寧

ひな祭り
きれいなきもの
きてみたい
岩戸小3年 木下 創介

きらきらと
太陽の光
春の霜
高千穂小6年 戸髙 花埜

祖母笑う
人柄にじむ
梅の花
高千穂中1年 甲斐 澪

ひなまつり
いろいろあって
きれいだな
押方小3年 飯干 里穂

なつかしむ
桜舞いちる
あのときを
上野小6年 佐藤 彩華

奥の山
かすかに見える
春の雪
高千穂中1年 佐藤 昊陽

4月からもたくさん送ってね！

第5回高千穂中学校移転新築検討委員会を開催しました。

検討委員会では「高千穂中学校移転新築基本構想・基本計画」を決定し、富高康雄委員長、佐藤さつき副委員長が2月26日（月）に町長へ基本構想・基本計画を答申しました。

町は答申を受け、今後、高千穂中学校移転新築について具体的に事業を進めていくことになります。

第 5 回検討委員会実施日時等

実施日時：令和6年2月22日(金)　15時～16時
会　　場：高千穂町役場大会議室

【問い合わせ】
高千穂中学校移転新築検討委員会事務局（高千穂町教育委員会内）
Tel：0982-73-1205　Fax：0982-73-1224
e-mail：kyouiku@town-takachiho.jp

《これまでの経過》　《第 5 回会議録》　《基本構想・基本計画(案)》

※PDF で開きます。

「検討委員会では、移転新築の基本計画や用地の選定について、1 年かけて審議してきた。子どもたちのために 1 日も早く完成するよう進めてほしい」と、高千穂中学校移転新築基本構想・基本計画の答申書を手渡す富髙康雄委員長

子育て支援センターつうしん

●開館日　月曜日～金曜日
10時～15時30分
●利用料　無料
0982(72)4511

※感染症等の影響により閉館になる場合があります。

2/8 木のおもちゃ ハンドメイド体験

町林業研究グループ連絡協議会員による木のおもちゃづくりを体験しました。

製作が苦手なお母さんでも簡単に作れ、子どもたちも色ぬりなどを手伝い楽しみました。

2/8 鬼退治ごっこ

背後から忍び寄る…。

遊びに夢中な子どもたち。鬼に気付いた途端に泣き叫んで逃げ回ったり、お母さんにしがみついたり。

みんなでボールを投げつけ鬼退治！弱い鬼だとわかると仲良くなり、最後は一緒に“はいチーズ”。

2/28 春のお茶会

黒木悦子さん、甲斐佳代子さん、樋口成美さんを迎え、春のお茶会をしました。

和服に着替えたお母さんたちは「お手前ちょうだいいたします」と言ってお辞儀をし、たてたお茶を堪能しました。

■あなたの年代を教えてください（✓をつけてください）

□10代　□20代　□30代　□40代
□50代　□60代　□70代　□80代以上

■広報紙を読んでの感想やご要望を教えてください

■町へのご意見や質問、要望など何でも書いてください

ご協力ありがとうございました。内容を広報紙で紹介させていただく場合があります（その場合はペンネームを表記します）。
個人情報は質問などの回答以外には利用しません。

◀点線に沿ってお切りください（郵便はがきも可）

図書館から本のお知らせ

のち更に咲く

澤田 瞳子　著

藤原道長の栄華を転覆させようと都を暗躍する盗賊たちの首かいが死んだはずの兄とのうわさを知り探索を始める小紅が紫式部、和泉式部も巻き込んで咲き誇る平安ロマンが艶やかに開幕。

いくつになっても遊び続ける ジジイのアウトドアノウハウ大全

winpy-jijii(ウィンピージジイ)　著

チャンネル登録者数26万人超のシニアYouTuber、winpy-jijiiが73歳になった今も忘れない、趣味に生きる著者の人生を掘り下げる一冊。

放課後ミステリクラブ①金魚の泳ぐプール事件

知念 実希人　著　Gurin. 絵

児童書で史上初の本屋大賞ノミネート作品。あの知念実希人氏が本気で書いた親子で楽しめる本格ミステリシリーズの第1段。

保健だより

お問い合わせ　保健センターげんき荘　☎0982(73)1717

大切ないのちを守るために

国は毎年３月を「自殺対策強化月間」と定めています。

日本における令和4年の自殺者数は21,881人で、男性は13年ぶりに増加し、女性は３年連続の増加で、男性の自殺者数は女性の約2倍となっています。

また、そのうち小中高生の自殺者数は514人で過去最多となりました。

町の自殺の現状と取り組み

自殺はさまざまな問題が複雑に絡み合って重なり合った場合、最も深刻化した時に起きると考えられています。

原因がさまざまであることから「誰にでも起こりうる出来事」といえます。

本町の平成29年～令和３年の５年間での自殺者数は男性７名女性５名の合計12名となっています。自殺死亡率の５年間平均は全国や県よりも高い状況が続いていますが、以前よりもその差は小さくなってきています。

本町では、これまでさまざまな自殺対策事業に取り組んできましたが、本年度『第二次いのちを支える高千穂町自殺対策行動計画』を策定し、令和６年４月からはこの計画を基に事業展開をしていく予定です。

「誰も自殺に追い込まれることのない高千穂町」を目指します。

こんな様子が続いたら要注意!!

◎自分の症状

- 気分が落ち込みやすい
- イライラして落ち着かない
- なかなか眠れない
- 体調不良が続く
- 何にも興味が持てない　など

◎周囲の人の症状

- 表情が暗い
- 口数が減った
- 体調不良の訴えが多い
- 遅刻・早退・欠勤が増えた
- 周囲との交流を避けるようになった　など

※10日～2週間以上続く場合はSOSのサインかもしれません。

周囲の人ができること

まずは、声をかけましょう。

「あれ？いつもと様子がちがうな。」と思ったら声をかけてください。悩みや心配事があっても周囲に相談できず、一人で抱え込む人もいます。

「どうしたの？」「大丈夫？」と声をかけ、話してくれたらゆっくり話を聴きましょう。

そして、必要に応じて悩み解決のために専門機関への相談を勧めましょう。

【話を聴くポイント】

- 相手の気持ちに寄り添い、受け止める
- ねぎらいの言葉をかける
- 否定・批判をしない
- 一方的に説得したり、単に励ましたりしない
- 心配していることや話してくれたことへの感謝を伝える

ひとりで抱え込まないで

つらい時は、誰かに自分の思いを打ち明けてみましょう。身近な人に話すことができなくてもさまざまな相談窓口があり、きっとあなたをサポートしてくれます。

相談することで「こころが軽くなる」「自分を客観視できる」「自分だけでは見えなかった解決法に気づくことができる」などのメリットがあります。

こころの不調を感じたら、まずは誰かに話してみませんか？相談する勇気は、こころ穏やかに生きるために必要な力です。

相談窓口一覧

こころの健康相談統一ダイヤル	かけた所在地の「心の健康相談」等の公的機関に接続	0570 -064-556
#いのち SOS （NPO 法人自殺対策支援センター ライフリンク）	専門の相談員が対応 木　6:00 ～ 24:00 木以外　00:00 ～ 24:00（24 時間） ※木曜 06:00 ～水曜 24:00 までは連続対応	0120-061-338
宮崎いのちの電話	日月水金　21:00 ～翌 4:00 火木土　18:00 ～翌 4:00	0570-783-556 0985-89-4343
高千穂町保健福祉総合センター げんき荘　こころの相談電話	保健師直通 平　日　8:45 ～ 17:15	0982-72-7117

ねんきん便り

お問い合わせ　町民生活課 国民年金係　☎0982(73)1203

国民年金の手続きを忘れずに！

3月から4月にかけて、異動の多くなる季節。退職後に厚生年金保険の適用事業所に再就職する場合を除き、20歳以上60歳未満の方は国民年金に加入するための手続きが必要です。

20歳以上60歳未満の方

■退職したとき

勤務先を退職した場合は、国民年金に加入するための手続きが必要です。また退職した人に扶養されていた配偶者についても同様に国民年金の手続きが必要となります。

国民年金保険料は月額16,520円（令和5年度）です。失業で納付が困難な方は、保険料免除・猶予制度がありますのでご相談ください。

60歳以上の方

■60歳以上で加入したいとき

60歳以上65歳未満で、老齢給付の受給資格期間が不足しているか、満額の老齢基礎年金が受けられない場合は、国民年金の任意加入被保険者となることができます。

学生納付特例の承認を受けられている方

■就職して保険料猶予分を納付したいとき

在学期間中に学生納付特例制度で保険料を猶予されていた方は、就職されてから「追納」をおすすめします。

学生納付特例の承認を受け期間は10年以内ならさかのぼって保険料を納めることができます。ただし、3年度目以降は当時の保険料に加算金がつき高くなりますので、早めの手続きをお願いします。

林業退職金共済制度のご案内

▶点線に沿ってお切りください（郵便はがきも可）

郵便はがき

料金受取人払郵便

延岡局承認

766

差出有効期限
令和6年12月
31日まで

8 8 2 - 1 1 9 0

高千穂町役場
企画観光課　行

ご住所

電話番号　（　　）　　-

おなまえ

ペンネーム

※記入がない場合はイニシャルで表記させていただきます

パートナーシップ宣誓制度がスタートします

町では、多様性が認められる社会を目指し、町民一人ひとりが互いに価値観や個性の違いを認め合い自分らしく活躍することで、安全・安心な暮らしの実現を進めることを目的としたパートナーシップ宣誓制度を導入します。

パートナーシップ宣誓制度とは

一方又は双方が性的少数者である2人の関係を婚姻に相当する関係であると自治体が認めるものです。通常の婚姻のような法的な効力はありませんが、性的少数者の方々の生きづらさの解消を図るための制度です。

制度開始日　令和6年4月1日

宣誓要件　以下のすべての要件を満たしていることが必要です。

・満１８歳以上であること。

・一方または双方が町内に住所を有するまたは転入を予定していること。

・配偶者がいないこと及び宣誓をしようとする相手以外の者と宣誓を行っていないこと。

・近親者でないこと。

宣誓時に必要なもの

・住民票の写しまたは住民票記載事項証明書

・配偶者がいないことを証明する書類

・運転免許証、マイナンバーカード等の本人確認ができるもの

事前予約　宣誓をする方は事前予約が必要となります。宣誓を希望する日の７日前までに電話にてご連絡ください。

※宣誓当日は、２人揃ってお越しください。

問予町民生活課　町民係

☎0982-73-1203

戸籍証明書等の広域交付が始まります

令和6年3月1日より、これまで本籍地のみで交付していた戸籍証明が、全国の市町村窓口で請求できるようになりました。なお、婚姻届や転籍届などの戸籍届出の際、提出いただいていた戸籍証明書等の添付が原則不要になります。

請求できる人　本人、配偶者、父母、祖父母等（直系尊属）、子・孫等（直系卑属）

※兄弟姉妹、郵便請求や委任状による代理人請求等は対象外となります。

取得できる証明書と手数料

・戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）…450円

・除籍全部事項証明書（除籍謄本）、改製原戸籍謄本　…750円

※コンピュータ化されていない一部の戸籍謄本・除籍謄本や一部事項証明書、個人事項証明書（戸籍抄本）、戸籍の附票の写し、身分証明書は対象外となります。

利用にあたっての注意事項

・直接窓口にお越しいただく必要があります。

・窓口にお越しになった方の本人確認のため、マイナンバーカードや運転免許証等の顔写真付きの本人確認書類の提示が必要です。

・相続関係戸籍等で必要な出生から死亡までの一連の戸籍を請求する場合や本籍地に問い合わせが必要な戸籍については、発行に時間を要しますので、余裕をもってお越しください。場合によっては、当日中に交付できないこともありますので、あらかじめご了承ください。

問町民生活課　戸籍係

☎73-1203

第19回「東日本高千穂会」総会・懇親会のご案内

東日本高千穂会の総会・懇親会を開催いたします。

日時　4月7日(日)　12時～15時

会場　明治記念館

東京都港区元赤坂2-2-23

問東日本高千穂会事務局長

田原義春

☎090-4062-8126

お子さまの教育資金を「国の教育ローン」がサポート

「国の教育ローン」（日本政策金融公庫）は、高校、大学等への入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

ご融資額　350万円以内(お子さま1人あたり)

金利　年2.25%

※母子家庭、父子家庭、交通遺児家庭、世帯年収200万円(所得132万円)以内の方または子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円(所得356万円)以内の方は年1.85%

(令和5年12月1日現在)

ご返済期間　18年以内

ご返済方法　毎月元利均等返済

(ボーナス時増額返済も可能)

使いみち　入学金、授業料、教科書代、アパート・マンションの敷金・家賃など

保証　(公財)教育資金融資保証基金(連帯保証人による保証も可能)

問教育ローンコールセンター

☎0570-008656(ナビダイヤル)

☎03-5321-8656

国の教育ローン　検索

今月の表紙

今回選ばれた神様をご紹介

上段左から

天鈿女命　佐藤（さとう） 凛（りん）さん

神武天皇　菅（すが） 敬祐（けいすけ）さん

木花咲耶姫　飯干（いいほし） 夏子（なつこ）さん

吾平津姫　丸本（まるもと） 幸来（ゆき）さん

下段左から

猿田彦命　櫻井（さくらい） 脩一朗（しゅういちろう）さん

瓊瓊杵尊　佐藤（さとう） 硯希（おうき）さん

町の人口

令和6年3月1日現在

※カッコ内は先月との比較

世帯	4,847戸	（　−6）
人口	11,003人	（−22）
男	5,341人	（　−1）
女	5,662人	（−21）

令和6年2月中の

転入	14人	転出	26人
出生	2人	死亡	12人

事件・事故

令和6年2月中の

事件（刑法犯）	件数	7件
交通事故		
人身事故	件数	0件
死者	人数	0人
負傷者	人数	0人
物損事故	件数	27件

応援ありがとうございます

ふるさと納税

令和6年2月中の寄付金

件数	570件
金額	840万5000円

令和5年度合計

件数	8,179件
金額	1億7094万3500円

町税などの納期限

3月の納期限

町県民　固定資産　軽自動車　国保　介護　後期高齢者　上（下）水道　簡易水道　下水道受益者負担金

祝！ご誕生

掲載を希望された方のみご紹介しています。

興梠（こうろき） 悠陽（はるひ） くん（長男・上押方）

パパ 卓也さん　ママ 麻美さん

一般寄付

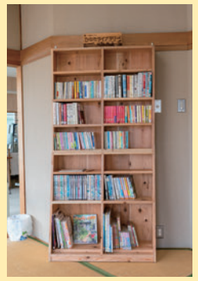
高千穂町社会福祉協議会

まんまるカフェ

香典返し

高千穂町社会福祉協議会（敬称略）

遺族名	（住所）	続柄	物故者
興梠	富男（黒口）	母	リム
興梠	順彦（下野西）	叔父	智彦
戸髙	義男（神殿）	父	又男
奈須	徳夫（三田井北）	母	ヨシ子
佐藤	隆俊（上寺）	母	待子
工藤ふみ子	（上田原）	母	佐藤ハツミ
田﨑	英一（神殿）	母	トヨ
佐藤	元生（土呂久）	母	チサ子
飯干	敏幸（下川登）	母	カメ子
甲斐ひとみ	（下川登）	夫	昭男



天岩戸の湯に本棚「ひなたライブラリー」が設置されました。

宮崎県が進める「読書の楽しさを広げる『読書県みやざき』総合推進事業」の取り組みのひとつ「どこでも本がある環境づくり」として贈呈されました。

生涯にわたって読書に親しむ みやざき県民

編集後記

※生成AIを使ってみました。

▼「ハラスメント」とは、嫌がらせ、いじめ、人権侵害に関与する恐れがあります。職場においてハラスメントが発生すると、被害者だけでなく他の社員や従業員にも悪影響が及ぶなど、職場環境の悪化は避けられません。また、被害者に心理的ストレス反応やうつ病などを発症させるなど健康にさまざまな影響をもたらします。

ハラスメントのリスクとしては、大きく分けて、法的責任の追及を受けるリスクと社会からの信頼を喪失し、社会的制裁を受けるリスクの2つがあります。法的責任の追及を受けるリスクは、ハラスメントを行った行為者に加え、使用者（事業者）にも生じることとなります。ハラスメントもいじめと同様、見て見ぬふりをすることは加担することと同じです。きちんとした知識を持って対処することが必要です。

私は、原稿の締め切りに間に合うかどうかを含めドキドキハラハラ(ミ)

来月号もお楽しみに

広報 高千穂 2024.3※ No.690
www.town-takachiho.jp
エガワ、爪痕？足跡？を残す。
「高千穂」の広報誌は毎月20日発行

藤本ハルさんが、めでたく100歳を迎えられました。

ハルさんは、11人兄弟の8番目として、三田井北(塩市)で生まれました。小さいころから体が弱く、学校を卒業後は、家事を手伝うなどし、20歳で同じ集落の秀美(ひでみ)さん(39年前に他界)と結婚しました。

結婚後は、秀美さんの仕事(図面引き)を手伝いながら「自分のことは自分で」をモットーに、2人の子どもを厳しく育てられ、現在では、孫3人、ひ孫1人がいらっしゃいます。

ハルさんは、神職の資格をお持ちで、50歳ごろに東京に行き取得をされたとのことです。

健康の秘訣は、手先を動かすことや毎朝決まった時間に起き、朝日を拝むこと。また、趣味である詩吟で声を出すことのようです。

5年程前に施設に入所されましたが、新聞や本を読んだり算数の勉強をするなどし、楽しく過ごされているようです。

長女の陽子さんは「これからも楽しく、気持ちよく過ごしてほしい」と話しました。

藤本　ハルさん(大正13年3月1日生)

100歳のお誕生日 おめでとうございます

これからもお元気でお過ごしください

林ミヤ子さんが、めでたく100歳を迎えられました。

5人兄弟の4番目として上野の玄武(田井本)で生まれ、学校を卒業後は、家事を手伝うなどし、24歳で直遠(なおとう)さん(9年前に他界)と結婚しました。

結婚後は、牛やたばこなどの農業をしながら子ども4人を育て、現在、孫7人、ひ孫15人に恵まれています。

ご自宅に伺った際、ご家族の方と間違うほど若々しいミヤ子さんは、散歩や野菜づくりが趣味で、野菜作りの時期になると、かるいを背負って毎日のように畑に歩いて行かれているそうです。

サロン通いが楽しみと話すミヤ子さんの健康の秘訣は、好き嫌いをせず三度三度きちんとご飯を食べること、早寝早起きをし体を動かすことおっしゃっていました。

長男の實則さんは「畑に通うことに心配はするが、これからも健康で長生きしてほしい」と話しました。

林　ミヤ子さん(大正13年3月6日生)

編集・発行/高千穂町企画観光課広報係
〒882-1192 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13番地
TEL 0982-73-1212 FAX 0982-73-1234